

そなえあれば  
うれいなし

# 西淀防災Times

Vol. 5 令和3年10月25日発行

『西淀防災 Times』Vol.5 では、令和3年11月1日(月)※雨天の場合は2日(火)に実施する地震・津波想定避難訓練についてお伝えします。最近、全国の各地で揺れの強い地震が頻発しており、私たちが住んでいる地域でも突然災害が起きるかもしれません。地震が起きた時に、迅速かつ安全に対応ができるように、学年等でも避難についての確認や、児童生徒にどの教員が付き添うのかを話し合ってお互いに共有し、災害に備えていきましょう。

## 今年度の避難のポイント

○今年度は、おおむね10時から11時10分と開始時間が不定です。そのため、地震発生時の児童生徒の対応については学年などで話し合うことが大切です。また、排泄指導などで放送が聞こえなかった場合でも、すぐに対応できるように「誰と、どこに、何をしに行くのか」などの情報を普段から共有しておくといいかもかもしれません。

○地震が発生したら、頭部を守って揺れが収まるのを待ちましょう。揺れが収まった後、一次避難(グラウンド)への避難指示が出たら、車いすやバギー等により乗換えましょう。訓練前に避難経路を確認するとよいかもしれません。(当日、職員室入口横に避難経路を出します。)

※今回、地震発生時に医療的ケアを実施している場合は、医療的ケア終了後避難してください。



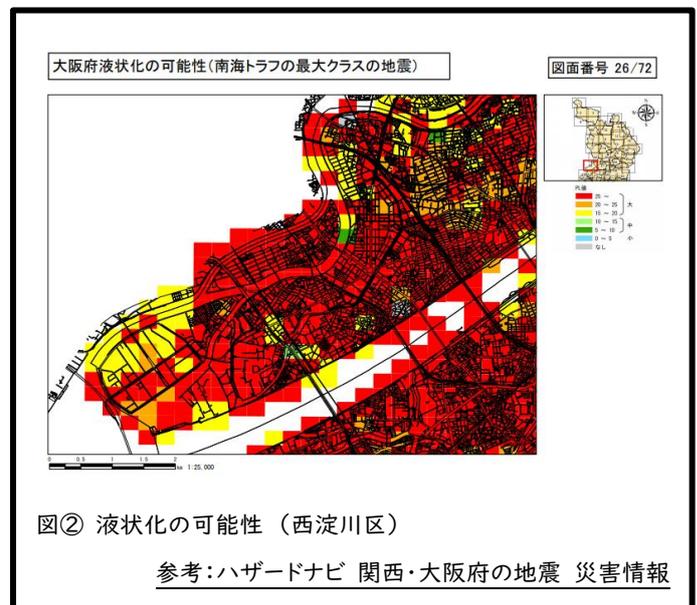
## 南海トラフ地震が起きてしまったとき

皆さんは、南海トラフ地震が起きた時にどのくらい被害が起きるかご存知ですか?図①は津波による被害想定です。色のあるところは被害が起こる可能性があります。西淀川区は、ほぼ全域に被害が生じると想定されています。津波が到達するまで約40分程度と言われているので、安全に配慮しながらより早く二次避難場所(西淀工場と千船病院)まで避難しなければなりません。さらに、避難中に気を付けなければいけないことの1つに、地盤の液状化があります。図②は大阪府の液状化の可能性を示したものです。多くの地域で液状化が起こると言われています。液状化が起こると地中から水や砂が噴き出し、バギーを押して移動がしにくいことも考えられます。これ以外にも気を付けなければならないことはたくさんあると思います。日頃から児童生徒が安全に避難できるかを想像しておくことが大切です。※図①、②が見えにくい場合は西淀川区のHPをご覧ください。



図① 津波による被害想定 (西淀川区)

参考:西淀川区トップページ



図② 液状化の可能性 (西淀川区)

参考:ハザードナビ 関西・大阪府の地震 災害情報